

信者の名称、象徴		信者の身分(命の成長と円熟に到達する)	
名称	1: 弟子、信者、聖徒、クリスチャン	身分	2: 永遠の命—神聖な性質を伴う神の命、三一の神が聖書の構造であること、ご自身を隠す神、隠れた神
象徴	3: 命の小麦、良い種、地の塩、世の光、人を捕る漁師		4: 神の相続人
	5: 生ける石と羊		6: 神の長子としてのキリストの兄弟たち
	7: あわれみを受ける尊い栄光の器、麦粒、ぶどうの木の枝		8: マタイによる福音書における、すべてを含むキリストを認識し経験する
	9: 柱と発光体		10: キリストの死に同形化され、格別な復活に到達する
	11: 星たち、男の子、初穂と収穫物、碧玉と他の宝石		12: 花婿、花嫁の円熟、戦士となって神の敵を打ち破ること

メッセージ 3

命の小麦、良い種、地の塩、世の光、人を捕る漁師

聖書: マタイ 3:12. 13:38. 5:13-16. 4:16-20

命の小麦
マタイ 3:12 彼は、手にふるい分けの箕を持っており、彼の打ち場を徹底的に清め、彼の小麦を倉に収めるが、もみ殻を消えない火で焼き尽くす。
良い種
マタイ 13:38 畑は世界である、良い種は王国の子たちである、毒麦は邪悪な者の子たちである。
地の塩
マタイ 5:13 あなたがたは地の塩である。しかし、もし塩が味を失えば、何によって塩味をつけるのであろうか？ もはや何の役にも立たず、ただ外に投げ捨てられ、人に踏みつけられるだけである。
世の光
マタイ 5:14 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。
マタイ 5:15 人はともし火をともし、それを升の下に置くことはしない。むしろ、燭台の上に置いて、家の中にいるすべての人を照らす。
マタイ 5:16 同じように、あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。それは、彼らがあなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父に栄光を帰すためである。
マタイ 4:16 暗やみの中に座っている民は、大いなる光を見た。そして、死の領域と死の影の中に座っている民に、光が昇った。
人を捕る漁師
マタイ 4:17 この時からイエスは宣べ伝え始めて言われた、「悔い改めよ、天の王国は近づいたからだ」。
マタイ 4:18 さて、イエスはガリラヤの海のほとりを歩いている時、二人の兄弟、ペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレが、海に網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。
マタイ 4:19 イエスは彼らに言われた、「わたしについて来なさい。あなたがたを、人を捕る漁師にしよう」。
マタイ 4:20 すると彼らは直ちに網を残して、彼に従って行った。

命の小麦、良い種、地の塩、世の光、人を捕る漁師			
I	命の小麦は主の倉に納められます(円熟)	A	信者は命の小麦です
		B	キリストの命の妨げとなるの四つの障害
II	良い種(王国の子たち)は、彼の王国で成長します	A-B	種はわたしたちの中へと撒かれて、わたしたちを良い種と成らせます
		C-G	わたしたちを良い種とならせる道
III	地の塩は、腐敗し腐った地の細菌を殺し除去する人です	A	ロトの妻は塩の柱になった
		B-C	塩味を失った塩とならない
IV	世の光は、この世の暗やみを除き去る人です	A	光は神の臨在であり、わたしたちは主の中で光です
		B-D	妄想、自己欺瞞から救われる道
V	人を捕る漁師は人を天の王国の中へともたらす	A	人を連れ出して、天の王国の中へともたらす
		B	王国の福音を通して、人を天の王国の中へともたらす

メッセージの構成(構造)
象徴の意義
妨げと障害
救われる道

各象徴において、その意義と、妨げと障害、救いの道が示されています。

結びの言葉
命の中で成長する人 (十字架の碎き)
死を通して命を供給する人 (地に落ちて死ぬ)
地の細菌を殺し除去する人 (ささげ、そして恵みを享受する)
この世の暗やみを除き去る人です (神の照らしに開く)
人を天の王国の中へともたらす人 (王国の福音を宣べ伝える)

メッセージ 3

命の小麦、良い種、地の塩、世の光、人を捕る漁師

信者という象徴の意義:

信者は命の麦のようです

I. 信者は、命の小麦によって象徴され、主の倉に収められます—マタイ 3:11-12, 13:24-30, 38-42:

マタイ 3:11 わたしはおまえたちが悔い改めるようにと、水の中でバプテスマする。しかし、わたしの後に来られる方は、わたしよりも力がある。わたしはその方のサンダルを持ち運ぶにも値しない。彼はおまえたちを、聖霊と火の中でバプテスマする。

マタイ 3:12 彼は、手にふるい分ける箕を持っており、彼の打ち場を徹底的に清め、彼の小麦を倉に収めるが、もみ殻を消えない火で焼き尽くす。

マタイ 13:24 イエスはもう一つのたとえを彼らの前に置いて言われた、「天の王国は、人が自分の畑に良い種をまくようなものである。

マタイ 13:25 人々が眠っている間に、彼の敵がやって来て、小麦の間に毒麦をまいて立ち去った。

マタイ 13:26 その葉が伸びて実を結んだ時、その毒麦も現れた。

マタイ 13:27 そこで、家の主人の奴隷たちがやって来て言った、『ご主人さま、あなたは畑に良い種をまかれたではありませんか？ それなのに、どこから毒麦が来たのですか？』。

マタイ 13:28 主人は彼らに言った、『それは敵がやったのだ』。奴隷たちは彼に言った、『では、あなたは、わたしたちが行ってそれらを集めることをお望みでしょうか？』。

マタイ 13:29 しかし彼は言った、『いや、毒麦を集めている間に、小麦までも一緒に根こそぎにするかもしれない。』

マタイ 13:30 両方とも収穫まで、育つままにしておきなさい。収穫の時になったら刈り取る者に、まず毒麦を集めて束にし、焼いてしまうようにと言い、しかし小麦はわたしの倉に収めるようにと言おう』。

マタイ 13:38 畑は世界である。良い種は王国の子たちである。毒麦は邪悪な者の子たちである。

マタイ 13:39 それらをまいた敵は悪魔である。収穫はこの時代の満了である。刈り取る者は御使いたちである。

マタイ 13:40 だから、毒麦が集められて火で焼き尽くされるように、この時代の満了の時にはそのようになる。

マタイ 13:41 人の子は御使いたちを遣わす。そして彼らは彼の王国から、すべてつまずきとなるものや不法を行なう者たちを集めて、

マタイ 13:42 それらを火の炉の中に投げ込む。そこでは、泣き叫んだり歯がみしたりする。

象徴の意義

A. 小麦の中には神聖な命があります

A. 信者は小麦であり、神聖な命を内側に持っています。 命は、人によって享受される神ご自身です—詩 36:7-9. ヨハネ 1:4, 10:10, 14:6, 6:63。

詩 36:7 神よ、あなたの慈愛は何と尊いことでしょう！ 人の子たちはあなたの翼の陰に避け所を得ます。

詩 36:8 彼らはあなたの家の脂肪分で満ち足り、あなたは彼らにあなたの楽しみの川から飲ませられます。

詩 36:9 あなたと共に、命の源泉があり、あなたの光の中で、わたしたちは光を見るのです。

ヨハネ 1:4 彼の中に命があった、この命は人の光であった。

ヨハネ 10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、実際であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父に来ることはない。

ヨハネ 6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

妨げと障害、そして救われる道

命のため、十字架の砕き、キリストの殺す死を経験し、障害を対処し取り除く

B. キリストの命がわたしたちの中で妨げられないことを願うなら、わたしたちは十字架の砕き、すなわち、すべてを含む霊の中のキリストの殺す死を経験しなければなりません。それによって、わたしたちの中の以下の障害は対処され、取り除かれることができます：

1. クリスマンであるとは、わたしたちの中の生けるキリストを顧慮し、キリスト以外の何ものもわたしたちの目標としないことを意味します。この事に対する障害は、命の道を認識せず、キリストをわたしたちの命としないことです—マタイ 7:13-14、ピリピ 3:8-14、コロサイ 3:4、ローマ 8:28-29。

マタイ 7:13 あなたがたは、狭い門から入りなさい。崩壊に至る門は広く、その道は幅広い。そして、そこから入って行く者が多い。

マタイ 7:14 命に至る門は狭く、その道は狭められているので、それを見いだす者は少ない。

ピリピ 3:8 しかしさらに、わたしはまた、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定します。その方のゆえに、わたしはすべての事で損失を被りましたが、それらをちりあくと勘定します。それは、わたしがキリストを獲得するためであり、

ピリピ 3:9 そして、キリストの中に見いだされるためです。それは、律法に基づくわたし自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って、

ピリピ 3:10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

ピリピ 3:11 何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

ピリピ 3:12 わたしは、すでに得たとか、すでに完成されているとか言うものではありません。わたしは、それを捕らえようと追い求めているのですが、それはわたしが、キリスト・イエスによって捕らえられているからです。

ピリピ 3:13 兄弟たちよ、わたしはまだ自分自身、捕らえたとは思っていません。ただ一つの事、すなわち、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、

ピリピ 3:14 キリスト・イエスの中でわたしを上を召してくださった神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。

コロ 3:4 わたしたちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。

ローマ 8:28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、わたしたちは知っています。

ローマ 8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多く兄弟たちの間で長子となるためです。

2. 第二の障害は偽善(霊的な偽善)です。人の霊性が決定されるのは、外側の現れによるのではなく、いかにキリストを顧慮するかによります—マタイ 6:1-6、15:7-8、ヨハネ 5:44、12:42-43。参照、ヨシュア 7:21。

マタイ 6:1 あなたがたは、人に注目されようとして、自分の義を人の前で行なうことがないように注意しなさい。そうでないと、あなたがたは、天におられるあなたがたの父の褒賞を受けることはない。

マタイ 6:2 だから、あなたは施しをするとき、あの偽善者たちが人から誉れを受けようとして、会堂や通りで行なっているように、自分の前でラッパを吹き鳴らしてはならない。まことに、わたしはあなたがたに言う。彼らは自分の報いを十分に得てしまっている。

マタイ 6:3 しかし、あなたは施しをするとき、右の手がしていることを左の手に知らせてはならない。

マタイ 6:4 それは、あなたの施しが隠れているためである。すると、隠れて見ておられるあなたの父は、あなたに報いてくださる。

マタイ 6:5 またあなたがたが祈るとき、あの偽善者たちのようであってはならない。なぜなら、彼らは人に見られるために、会堂の中や街角で立て祈ることを好むからである。まことに、わたしはあなたがたに言う。彼らは自分の報いを十分に得てしまっている。

マタイ 6:6 あなたは祈るとき、自分の密室に入り、戸を閉めて、隠れておられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れて見ておられるあなたの父は、あなたに報いてくださる。

マタイ 15:7 偽善者よ！ イザヤはよくもあなたがたのことを適切に預言して言ったものだ、

マタイ 15:8 『この民は、口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。』

ヨハネ 5:44 あなたがたは互いに栄光を受け、そして唯一の神からの栄光を求めないなら、どうしてわたしを信じることができようか？

ヨハネ 12:42 それにもかかわらず、支配者たちの多くが彼の中へと信じた。しかし、パリサイ人をはばかって、彼を告白しなかった。それは、会堂から追放されないためであった。

ヨハネ 12:43 彼らは神の栄光よりも、人の栄光を愛したからである。

ヨシュ 7:21 わたしは略奪したもののうちに、シナルの美しい外套一枚と、銀二百シケルと、目方五十シケルの金の延べ棒一本があるのを見て欲しくなり、それらを取りました。それらは今、わたしの天幕の中の地に隠してあり、銀はその下にあります。
(バビロンのものを欲しくなった) わたしたちの内側の偶像が障害と成る

3. 第三の障害は反逆です。わたしたちは事を行なうことにおいて非常に活動的で熱心であったとしても、わたしたちの内側の生けるキリストをないがしろにすることによって、依然として生けるキリストを監禁し、彼に従わないかもしれません—レビ 14:9, 14-18, 11:1-2, 46-47, ローマ 16:17, I コリント 15:33。

レビ 14:9 七日目に、彼はすべての毛をそり落とさなければならない。頭も、髭も、まゆ毛も、すべての毛をそらなければならない。そして自分の服を洗って、自分の肉を水に浸さなければならない。そうすれば彼は清くなる。

9 の1 頭髪は自己を尊ぶことでの人の栄光を表徴し、髭は人の自己の尊貴を表徴し、まゆ毛は人の天然の誕生から出て来る卓越性、長所、美德を表徴し、体のすべての毛は人の天然の力と能力を表徴します。すべての毛をそり落とし、水に浸ることは、十字架の「カミソリ」を通して、自己とそのすべての栄光、尊貴、卓越性、長所、美德、力、能力を取り除くことと等しいのです。わたしたちは何も持たず、無であるとき、清いのです(参照、ピリピ 3:7-11)。

レビ 14:14 祭司は、違犯のためのささげ物の血を取らなければならない。そして祭司はそれを、清められるべき者の右の耳たぶと右手の親指と右足の親指とに付けなければならない。

14 の1これが表徴するのは、人に違犯があるのは第一に、耳が正しくなく、神の言葉に聞き従わないからであり、第二に、手が正しくなく、神の事を行なわないからであり、第三に、足が正しくなく、神の道を取らないからであるということです。ですから、人は彼の違犯のためのささげ物としての主イエスの血をもって、これらすべての面で清められる必要があります。

レビ 14:15 祭司は油一ログから取って、祭司の左の手のひらに注ぎ、

レビ 14:16 また、祭司は右の指を左の手のひらにある油に浸し、指で油を七たび、エホバの御前で振りかけなければならない。

レビ 14:17 祭司は手のひらにある残りの油からいくらかを、清められるべき者の右の耳たぶと右手の親指と右足の親指とに、すなわち、違犯のためのささげ物の血の上に付けなければならない。

レビ 14:18 そして、祭司の手のひらにある残りの油を、清められるべき者の頭に付けなければならない。こうして祭司はその人のために、エホバの御前で罪を覆わなければならない。

わたしたちの接触するもの注意する

レビ 11:1 次に、エホバはモーセとアロンに語って言われた、

レビ 11:2 「イスラエルの子たちに語って言いなさい、『地上にいるすべての獣のうちで、あなたがたが食べてもよい動物は、次のとおりである。』

レビ 11:46 これが、獣と鳥と、水の中を動くすべての生き物と、地に群がるすべての被造物についての規則であり、

レビ 11:47 それは、汚れたものと清いもの、食べてもよい動物と食べてはならない動物を区別するためのものである。

ローマ 16:17 さて兄弟たちよ、わたしはあなたがたに勧めます。あなたがたが学んできた教えに反して、分裂やつまずきの原因を作る者たちを警戒し、また彼らから離れ去りなさい。

I コリ 15:33 欺かれてはなりません。「悪い交際は良い道徳を腐敗させる」。

4. 第四の障害は、わたしたちの天然の能力です。もしこれらの天然の能力がわたしたちの中で砕かれていないままであるなら、それらはキリストの命にとって問題となります—2:14-15, 3:12-17, ユダ 19-21 節。

I コリ 2:14 しかし魂の人は、神の霊の事柄を受け入れません。なぜなら、彼にとって、それは愚かであるからです。また彼は、それを知ることができません。それは、霊によって識別されるものだからです。

I コリ 2:15 しかし霊の人は、すべての事柄を識別しますが、彼自身はだれにも識別されません。

I コリ 3:12 ところが、その土台の上に、人が金、銀、宝石、木、草、刈り株をもって建てるなら、

I コリ 3:13 それぞれの人の働きはあらわになります。なぜなら、かの日がそれを明らかにするからです。すなわち、それは火によって現され、その火自身が、それぞれの人の働きがどんなものであるか

を証明するのです。

Ⅰコリ 3:14 もし、その土台の上に建てた人の働きが残るなら、彼は褒賞を受けます。

Ⅰコリ 3:15 もし、その人の働きが焼き尽くされるなら、彼は損失を被ります。しかし彼自身は、火をくぐってきたようにではあっても救われます。

Ⅰコリ 3:16 あなたがたは神の宮であって、神の霊があなたがたの中に住んでおられることを、知らないのですか？

Ⅰコリ 3:17 もし人が神のその宮を破壊するなら、神は彼を破壊されます。なぜなら、神のその宮は聖なるものであり、あなたがたはそのようなものであるからです。

ユダ 19 節 これらは分裂を起こし、魂的であり、霊を持たない者です。

ユダ 20 節 しかし、愛する者たちよ、あなたがたは最も聖い信仰の上に自らを建て上げ、聖霊の中で祈りなさい。

ユダ 21 節 自分自身を神の愛の中に保ち、わたしたちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望んで、永遠の命へと至りなさい。

良い種(王国の子たち)は、彼の王国で成長します

II. 信者は、良い種(王国の子たち)によって象徴され、主によってまかれて彼の王国の中で成長します—マタイ 13:24, 38:

マタイ 13:24 イエスはもう一つのたとえを彼らの前に置いて言われた、「天の王国は、人が自分の畑に良い種をまくようなものである。

マタイ 13:38 畑は世界である、良い種は王国の子たちである。毒麦は邪悪な者の子たちである。

第一のたとえで、種をまく者がまいた種は王国の言葉でした。十九節はこれをはっきりと言っています。しかし第二のたとえでは、種が発展して王国の子たちになったことを見ます(三八節)。まず、これは、種が人性の中にまかれた言葉であったこと、第二に、それは成長して王国の子たちになったことを意味します。前回のメッセージで、種は、その中に命としてのキリストがある言葉であることを指摘しました。第二のたとえによれば、この種はわたしたち王国の民、王国の子たちの中に成長します。ですから、麦は王国の子たち、真の信者たち、神聖な命で再生された人々です。(マタイ福音ライフスタディ(第 37 篇))

A-B:種はわたしたちの中へと撒かれて、わたしたちを良い種と成らせます

A. 種は、神の言葉(4, 19 節、ルカ 8:11)、キリストご自身であって(Ⅰペテロ 1:23)、わたしたちの中へとまかれて、わたしたちを良い種、すなわち、復活の子たちとならせます(マタイ 13:38、ルカ 20:36-38)。

マタイ 13:4 彼がまいている時、ある種は道ばたに落ちた。すると、鳥が来てそれを食べ尽くしてしまった。

マタイ 13:19 だれでも 王国の言を聞いても理解しないなら、あの邪悪な者が来て、心にまかれたものを奪い取ってしまう。これが、道ばたにまかれたものである。

ルカ 8:11 このたとえはこうである、種は神の言である。

Ⅰペテ 1:23 あなたがたが再生されたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、生きていて存続する、神の言によるのです。

ルカ 20:36 というのは、彼らはもはや死ぬことがあり得ないからだ。彼らは御使いたちと同じである。そして彼らは復活の子たちであるので、神の子たちである。

ルカ 20:37 死人が復活させられることは、モーセもいばらの箇所、彼が主をアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んでいることで明らかにした。

ルカ 20:38 彼は死んだ者の神ではなく、生きている者の神である。なぜなら、彼にあって人はみな生きているからである」。

B. 神の言葉は麦粒として、神を命としてわたしたちの中へと分与して、わたしたちを養います。また言葉は火として、わたしたちとわたしたちが信頼している多くのものを焼きます。また言葉は槌として、わたしたちの自己、天然の命、肉、情欲、観念を砕きます—エレミヤ 23:28-29。

エレ 23:28 夢を見る預言者に、その夢を告げさせよ。わたしの言葉がある者に、わたしの言葉を忠信に語らせよ。わらは麦粒にとって何であるのか？ とエホバは告げられる。

エレ 23:29 エホバは告げられる、わたしの言葉は火のようではないか、また岩を砕く槌のようではないか？

C-G:わたしたちを良い種とならせる道

C. 良い種として、わたしたちは主に従って地の中へと入って死に、復活の中で多くの実を結ばなければなりません。死ぬことと、十字架を経験することは、わたしたちの魂の命、天然の命を否み、拒絶して、神聖な命によって生きることです—ヨハネ 12:23-26, 31-32。

ヨハネ 12:23 イエスは彼らに答えて言われた、「人の子の栄光が現される時が来た。

ヨハネ 12:24 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う、一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一

粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。

ヨハネ 12:25 自分の魂の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の魂の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至る。

ヨハネ 12:26 だれでもわたしに仕えるなら、その人はわたしについて来なさい。 そうすれば、わたしのいる所に、わたしに仕える者もいるのである。だれでもわたしに仕えるなら、父はその人を尊ばれる。

ヨハネ 12:31 今は、この世が裁きを受ける時である。今、この世の支配者は追い出される。

ヨハネ 12:32 わたしは、地から上げられるなら、すべての人をわたし自身に引き寄せよう。

- D. 良い種をまくことは殉教です。なぜなら、「あなたがまくものは、死ななければ生かされない」からです(Ⅰコリント 15:36)。わたしたちは肉体的に、精神的に、霊的に殉教者となることがあり得ます(Ⅱテモテ 4:6、マタイ 16:25、Ⅰコリント 16:12、Ⅱコリント 2:12-14)。

Ⅱテモ 4:6 わたしはすでに注ぎ出されています。わたしの去る時は迫っています。

マタイ 16:25 なぜなら、すべて自分の魂の命を救おうとする者はそれを失い、すべてわたしのために自分の魂の命を失う者はそれを見いだすからである。

Ⅰコリ 16:12 わたしたちの兄弟アポロのことですが、兄弟たちと共にあなたがたの所へ行くようにと、わたしはたびたび熱心に勧めてみました。しかし今のところ、彼には行く気持ちが全くありません。しかし機会があれば、彼は行くでしょう。

Ⅱコリ 2:12 さらに、わたしがキリストの福音のためにトロアスへ行った時、主にあって一つの門がわたしに開かれていましたが、

Ⅱコリ 2:13 わたしの兄弟テトスに会えなかったので、わたしの霊には安息がなく、彼らに別れを告げて、マケドニアへ出発しました。

Ⅱコリ 2:14 しかし神に感謝します。この方はいつもわたしたちを、キリストにあって凱旋行進の中で導き、彼を知る知識の香りを、至る所でわたしたちを通して現されます。

- E. キリストの愛情深い愛は、わたしたちに押し迫って、わたしたちが彼に生き、彼に死に、彼のために殉教者となるようにします—5:14-15、ローマ 8:35-37、14:7-9、啓 2:10、12:11。

Ⅱコリ 5:14 なぜなら、キリストの愛がわたしたちに押し迫っているからです。そこでこう判断しました。ひとりの方がすべての人のために死なれたからには、すべての人が死んだのです。

Ⅱコリ 5:15 そして、彼がすべてのために死なれたのは、生きている者が、もはや自分自身ではなく、彼らのために死んで復活させられた方に生きるためです。

ローマ 8:35 だれがわたしたちをキリストの愛から引き離すのですか？ 患難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか？

ローマ 8:36 「あなたのために、わたしたちは終日、死に渡されている。わたしたちはほふられる羊と見なされてきた」と書かれているとおりです。

ローマ 8:37 しかし、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります。

ローマ 14:7 というのは、わたしたちのうちだれも、自分自身に生きる者はなく、自分自身に死ぬ者はいないからです。

ローマ 14:8 わたしたちは生きるにしても、主に生きるものであり、死ぬにしても、主に死ぬのです。こういうわけで、わたしたちは生きるにしても死ぬにしても、主のものです。

ローマ 14:9 このために、キリストが死んで再び生きられたのは、彼が死んだ者と生きている者の主となられるためです。

啓 2:10 あなたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけません。見よ、あなたがたを試すために、悪魔はあなたがたのうちのある者を、獄へ投げ込もうとしている。あなたがたは十日の間、患難を受けるであろう。死に至るまで忠信であれ。そうすれば、わたしはあなたに命の冠を与える。

啓 12:11 兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった。

- F. わたしたちの環境におけるイエスの致死力は、内住する霊と協力して、わたしたちの天然の人を殺し、神聖な命を解き放ちます—ローマ 8:2, 13、Ⅱコリント 4:10-13、エレミヤ 48:11。

ローマ 8:2 なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、わたしを解放したからです。

ローマ 8:13 なぜなら、もし肉にしたがって生きるなら、あなたがたは死ななければならないからです。しかし、その霊によって体の行ないを死に渡すなら、あなたがたは生きます。

Ⅱコリ 4:10 絶えずこの体に、イエスの致死力が働いています。それはまた、イエスの命が、わたしたちの体に現されるためです。

Ⅱコリ 4:11 なぜなら、わたしたち生きている者はイエスのために、絶えず死に渡されているからであり、それはイエスの命が、わたしたちの死ぬべき肉体に現されるためです。

Ⅱコリ 4:12 こうして、死はわたしたちの中で働き、命はあなたがたの中で働くのです。

Ⅱコリ 4:13 また、「わたしは信じた、それゆえにわたしは語った」と書いてあるとおり、同じ信仰の霊を持っているので、わたしたちも信じ、それゆえにまた語るのです。

エレ 48:11 モアブは若い時から安らかであった。彼は酒の澱の上にとどまって、器から器へあけられたことがなく、捕らえられて行ったこともなかった。それゆえ、彼の味は彼の中に残り、彼のにおいは変わっていない。

G. 主に對するわたしたちの奉仕はすべて、神を起源としなければならず、わたしたち自身を起源としてはなりません。わたしたちが自分の中で彼の死に働いていただくとき、彼の復活の命は、わたしたちを通して他の人の中へと分け与えられることができます—Ⅱコリント 4:12-13. 1:8-9. 4:5. 10:13:

Ⅱコリ 1:8 兄弟たちよ、アジアでわたしたちに降りかかった患難について、あなたがたに知らずにいてもらいたくありません。すなわち、わたしたちは極度に、耐えられないほどに圧迫されて、生きる望みをさえ失ったほ

どです。
Ⅱコリ 1:9 実に、わたしたちは自ら、自分自身のうちに死という答えを持ちました。それは、わたしたちが自分自身に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼するためでした。

Ⅱコリ 4:5 というのは、わたしたちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、キリスト・イエスを主と宣べ伝え、また、わたしたち自身がイエスのためのあなたがたの奴隷であることを宣べ伝えるからです。

Ⅱコリ 10:13 しかし、わたしたちは自分の度量を越えて誇ろうとはしません。むしろ測りなわの神が、わたしたちに割り当ててくださった尺度の度量にしたがって、遠くあなたがたにまで到達することを誇ります。

1. ダビデは神を愛し、神を畏れ、神と協力して、神に働いていただきました。ダビデは神の宮を建造する能力を持っていましたが、神の言葉が彼に臨んだ時、彼はやめました—サムエル下 7:18, 25, 27. 参照、ルカ 1:38。

サム下 7:18 そこで、ダビデ王は進み出てエホバの御前に座し、言った、「おお、主エホバよ、わたしがだれであるので、またわたしの家が何であるので、あなたはわたしをこれまで導かれたのですか？

サム下 7:25 今、エホバ・神よ、あなたがご自身のしもべと彼の家について語られた言葉を永遠に堅くし、あなたが語られたように行なってください。

サム下 7:27 万軍のエホバ、イスラエルの神よ、あなたはご自身のしもべに啓示して、『わたしがあなたのために家を建てる』と言われました。ですからあなたのしもべは、この祈りをあなたに祈る心を得たのです。

ルカ 1:38 マリアは言った、「ご覧ください、わたしは主のはしめです。あなたのお言葉どおり、わたしに成りますように。」そこで、御使いは彼女から去った。

2. ダビデがやめたことは、宇宙において二重の証しを打ち立てました。第一に、この宇宙におけるすべての働きは神から来るべきであって、人からであってはなりません。第二に、重要なのは、神が人のために何を行なうかであって、人が神のために何を行なうかではありません。

3. 宮の建造者と宮の敷地はいずれも、ダビデの罪が赦されたことから出て来ました。すなわち、神がダビデのために行なったことから出て来ました—サムエル下 12:24-25, 24:1-10, 18-25. 歴代上 21:18. 歴代下 3:1. 詩第 51 篇。

サム下 12:24 ダビデは妻バテ・シバを慰め、彼女の所に入って、彼女と寝た。彼女は男の子を産み、彼はその名をソロモンと呼んだ。エホバは彼を愛された。

サム下 12:25 そして、彼は預言者ナタンを通して言葉を送り、エホバのために彼の名をエデデアと呼ばれた。

サム下 24:1 エホバの怒りが再びイスラエルに向かって燃え上がった。彼はダビデを動かして彼らに逆らわせ、「行って、イスラエルとユダを数えよ」と言わせた。

サム下 24:2 王は共にいた軍の長ヨアブに言った、「ダンからベエル・シバまで、イスラエルの全部族を行き巡り、民を数えて、わたしに民の数を知らせなさい」。

サム下 24:3 ヨアブは王に言った、「エホバ・あなたの神が、民を今より百倍にも増し加えてくださり、わが主、王の目がそれを見られますように。しかし、わが主、王は、なぜこの事を願われるのですか？」。

サム下 24:4 しかし、王の言葉はヨアブと軍の長たちに勝った。そこでヨアブと軍の長たちは王の前から出て行って、イスラエルの民を数えた。

サム下 24:5 彼らはヨルダンを渡って、谷の真ん中にある町の右のアロエルで宿営し、ガドに向かい、ヤゼルに進んだ。

サム下 24:6 それから、彼らはギレアデとヘテ・ホドシの地に行き、さらにダン・ヤアンに行き、シドンに回った。

サム下 24:7 そして、彼らはツロの要害、ヒビ人とカナン人のすべての町々に向かい、ユダの南のベエル・シバに行った。

サム下 24:8 彼らは全土をくまなく行き巡り、九か月と二十日の後にエルサレムに帰って来た。

サム下 24:9 ヨアブは、民を数えた人数を王に報告した。イスラエルには八十万の剣を抜く勇士がおり、ユダの人々は五十万人であった。

サム下 24:10 民を数えた後、ダビデの心は彼をとがめた。ダビデはエホバに言った、「わたしは自分が行なったことで、大いに罪を犯しました。しかし今、エホバよ、あなたのしもべの罪科を取り去ってください。わたしはとても愚かに行動したからです」。

サム下 24:18 その日、ガデはダビデの所に来て彼に言った、「上って行って、エブス人アラウナの打ち場でエホバに祭壇を築きなさい」。

サム下 24:19 ダビデはガデの言葉にしたがって、エホバが命じられたように上って行った。

サム下 24:20 アラウナが外を眺めていると、王と彼のしもべたちが自分のほうに来るのが見えた。そこでアラウナは出て行って、王の前で地にひれ伏した。

サム下 24:21 アラウナは言った「、なぜわが主、王はこのしもべの所に来られたのですか？」。ダビデは言った、「あなたから打ち場を買って、エホバに祭壇を築き、民の間から疫病を止めるためです」。

サム下 24:22 アラウナはダビデに言った、「わが主、王が、ご自分の目に良いと思われるものを何でも取って、ささげてください。ご覧ください、全焼のささげ物のための牛がいます。また薪にできる打穀機も牛のくびきもあります」。

サム下 24:23 王よ、このすべてを、アラウナは王に差し上げます」。またアラウナは王に言った、「エホバ・あなたの神が、あなたを受け入れてくださいますように」。

サム下 24:24 しかし、王はアラウナに言った、「いいえ、わたしは必ず代価を払ってあなたから買います。わたしは何の費用もかけずに、エホバ・わたしの神に全焼のささげ物をささげることはしたくありません」。こうしてダビデは、打ち場と牛を銀五十シケルで買った。

サム下 24:25 ダビデはその所でエホバに祭壇を築き、全焼のささげ物と平安のささげ物をささげた。エホバがこの地のための求めに応じられたので、疫病はイスラエルにやんだ。

歴代上 21:18 エホバの御使いはガデに命じて、ダビデは上って行って、エブス人オルナンの打ち場で、エホバに祭壇を築くようにとダビデに告げさせた。

歴代下 3:1 ソロモンはエルサレムのモリヤの山に、エホバの家を建て始めた。そこは、エホバが父ダビデに現れ、ダビデがエブス人オルナンの打ち場に用意した場所である。

詩 51:1 神よ、あなたの慈愛にしたがって、わたしに恵み深くあってください。あなたの大きなあわれみにしたがって、わたしの違反をぬぐい去ってください。

詩 51:2 わたしを罪科から徹底的に洗い、わたしの罪からわたしを清めてください。

詩 51:3 まことに、わたしは自分の違反を知っています。わたしの罪は常にわたしの前にあります。

詩 51:4 わたしはあなたに、ただあなたに対して罪を犯し、あなたの目に邪悪を行ないました。それゆえ、あなたが語られるときは義しく、あなたが裁かれるときは明確です。

詩 51:5 まことに、わたしは罪科の中で生まれ、罪の中で、わたしの母はわたしを身ごもりました。

詩 51:6 まことに、あなたは内なる各部分にある真実を喜ばれます。あなたはわたしの隠れた部分に知恵を知らせられます。

詩 51:7 ヒソプをもって、わたしの罪をきよめてください。わたしは清くなるでしょう。わたしを洗ってください。わたしは雪よりも白くなるでしょう。

詩 51:8 わたしに楽しみと喜びを聞かせて、あなたが砕かれた骨を喜び躍らせてください。

詩 51:9 あなたの御顔をわたしの罪から隠し、わたしのすべての罪科をぬぐい去ってください。

詩 51:10 神よ、わたしの中に清い心を創造し、わたしの内にある堅固な霊を新しくしてください。

詩 51:11 わたしをあなたの御顔から投げ捨てず、あなたの聖別の霊をわたしから取り去らないでください。

詩 51:12 あなたの救いの喜びをわたしに戻し、喜んで従う霊をもってわたしを支えてください。

詩 51:13 わたしは違反する者たちにあなたの道を教えます。それで、罪人はあなたに戻って来るでしょう。

詩 51:14 神よ、わが救いの神よ、血を流した罪科からわたしを救い出してください。そうすれば、わたしの舌はあなたの義を鳴り響かせます。

詩 51:15 主よ、わたしの唇を開いてください。そうすれば、わたしの口はあなたへの賛美を告げ広めます。

詩 51:16 あなたは犠牲を喜ばれません。たとえわたしがささげても、あなたは全焼のささげ物を望まれません。

詩 51:17 神の求める犠牲は砕かれた霊です。神よ、あなたは砕かれて悔いた心を軽んじられません。

詩 51:18 あなたの大きい喜びの中でシオンに善を行ない、エルサレムの城壁を築いてください。

詩 51:19 その時、あなたは義の犠牲を喜び、全焼のささげ物と完全な全焼のささげ物を喜ばれます。その時、彼らは雄牛をあなたの祭壇の上にささげるでしょう。

4. M・E・バーバー姉妹は言いました、「神のために働くのをやめることができない人はだれも、神のために働くことはできません」。

Ⅲ. 信者は地の塩であり、腐敗し腐った地の細菌を殺し除去する人です—マタイ 5:13. 参照、レビ 2:13:

マタイ 5:13 あなたがたは地の塩である。しかし、もし塩が味を失えば、何によって塩味をつけるのであろうか？ もはや何の役にも立たず、ただ外に投げ捨てられ、人に踏みつけられるだけである。

レビ 2:13 あなたの穀物のささげ物はすべて、塩で塩づけしなければならない。あなたは、あなたの穀物の

ささげ物から、あなたの神の契約の塩を欠いてはならない。あなたはすべてのささげ物と共に、塩を献げなければならない。

- A. **ロトの妻は塩の柱になり**、塩味をつける機能を失いました。なぜなら彼女は未練がましくソドムを振り返って見たからです。それは彼女が、神が滅ぼそうとしていた邪悪なこの世を愛し、尊んでいたことを示します—創 19:15, 24-26. ルカ 17:32。

創 19:15 夜が明けころ、御使いたちはロトを急がせて言った、「立って、ここにいるあなたの妻と二人の娘を連れて行きなさい。そうでないと、あなたはこの町の罪科の中で滅ぼされてしまう」。

創 19:24 その時、エホバはソドムとゴモラの上に、硫黄と火をエホバから、天から降らせられた。

創 19:25 彼はこれらの町々と平地全体とその町々の全住民とその地に生えている物を滅ぼされた。

創 19:26 しかし、ロトの妻は彼の後ろから振り向いたので、塩の柱になった。

ルカ 17:32 ロトの妻を思い出さない。

- B. わたしたちは**主に従う生涯の中で、わたしたちの持っているすべて、なし得るすべてをこのためにささげなければなりません**。そうでないと、わたしたちは失敗し、味のない塩となって、栄光の領域から恥辱の領域へ投げ捨てられるでしょう—14:31-35. 参照、啓 3:21. ヨハネ 16:33。

ルカ 14:31 また、どんな王でも、他の王と戦いを交えようとする時、二万人を率いて向かって来る者に、一万人で応戦することができるかどうか、まず座って、よくよく考えてみないだろうか？

ルカ 14:32 もしできなければ、相手がまだ遠くにいるうちに、使者を送って和平の条件を求めよう。

ルカ 14:33 そのように、あなたがたはだれでも、自分の財産をすべて放棄しないなら、わたしの弟子になることはできない。

ルカ 14:34 だから、塩は良いものであるが、塩であっても味を失えば、何によって塩味が取り戻されるであろうか？

ルカ 14:35 土地にも肥やしにも役に立たず、人々は外に投げ捨てるであろう。耳のある者は、聞くがよい」。

啓 3:21 勝利を得る者を、わたしと共にわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父と共に彼の御座に着いたのと同じである。

ヨハネ 16:33 わたしがこれらの事をあなたがたに語ってきたのは、あなたがたがわたしの中で、平安を持つためである。世にあって、あなたがたには苦難がある。しかし、勇気を出さない。わたしはすでに世に打ち勝っている」。

- C. わたしたちは失望すべきでも落胆すべきでもなく、むしろすべてに十分な恵みとしての手順を経て究極的に完成された三一の神によって、増強され強められて、神聖なエコノミーを生かし出すべきです—Ⅰコリント 15:10. Ⅱコリント 12:9. Ⅱテモテ 4:22. コロサイ 4:6。

Ⅰコリ 15:10 しかし、神の恵みによって、今のわたしがあるのです。そしてわたしに対する神の恵みは、無駄にはなりませんでした。それどころか、わたしは彼らのだれよりも多く労苦してきました。しかし、それはわたしではなく、わたしと共にある神の恵みです。

Ⅱコリ 12:9 すると彼はわたしに言われました、「わたしの恵みは、あなたに対して十分である。わたしの力は、弱さにおいて完全に現れる」。ですから、わたしはむしろ自分の弱さを、大いに喜んで誇りましょう。それはキリストの力が、わたしの上に幕屋を張るためです。

Ⅱテモ 4:22 主があなたの霊と共におられますように。恵みがあなたと共にありますように。

コロ 4:6 あなたがたの語りかけを、常に恵みを伴った、塩で味つけられたものにしないで。そうすれば、一人一人に対して、いかに答えるべきかがわかるでしょう。

IV. **信者は世の光であり、自分たちの光を人々の前に輝かせ、この世の暗やみを除き去る人です—マタイ 5:14-16. エペソ 5:8:**

マタイ 5:14 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。

マタイ 5:15 人はともし火をともし、それを升の下に置くことはしない。むしろ、燭台の上に置いて、家の中にいるすべての人を照らす。

マタイ 5:16 同じように、あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。それは、彼らがあなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父に栄光を帰すためである。

エペソ 5:8 なぜなら、あなたがたはかつては暗やみでしたが、今は主の中で光であるからです。光の子供たちとして歩きなさい。

- A. 光は神の臨在です。わたしたちは神から生まれているので、今や主の中で光であり、光の子供たちとして歩かなければなりません—Ⅰヨハネ 1:5. エペソ 5:8-9。

Ⅰヨハ 1:5 さて、わたしたちが彼から聞いて、あなたがたに伝える知らせはこれです。すなわち、神は光であって、神の中には少しの暗やみもありません。

エペソ 5:8 なぜなら、あなたがたはかつては暗やみでしたが、今は主の中で光であるからです。光の子供たちとして歩きなさい。

エペソ 5:9 (光の実は、すべての善と義と真実の中にあるからです)。

B. 妄想、自己欺瞞から救われる道は、光の中を生き、神の照らしに開くことであって、自分自身の光を生み出すことではありません—詩 36:8-9. 80:17-19. 139:23-24. I ヨハネ 1:5, 7, 9. イザヤ 2:5. 50:10-11:

詩 36:8 彼らはあなたの家の脂肪分で満ち足り、あなたは彼らにあなたの楽しみよろこびの川から飲ませられます。

詩 36:9 あなたと共に、命の源泉があり、あなたの光の中で、わたしたちは光を見るのです。

詩 80:17 あなたの御手をあなたの右の手の人の上に置き、ご自身のために強くされた人の子の上に置いてください。

詩 80:18 そうすれば、わたしたちはあなたから退き離れることはありません。わたしたちを復興してください。わたしたちはあなたの御名を呼び求めます。

詩 80:19 エホバ・万軍の神よ、わたしたちを回復し、あなたの御顔を輝かせてください。そうすれば、わたしたちは救われます。

詩 139:23 神よ、わたしを探り、わたしの心を知り、わたしを試みて、わたしの煩う思いを知ってください。

詩 139:24 わたしの内によこしまな道があるかどうかを見て、わたしを永遠の道に導いてください。

I ヨハ 1:7 しかし、神が光の中におられるように、わたしたちが光の中を歩くなら、わたしたちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちを清めます。

I ヨハ 1:9 もし、わたしたちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、わたしたちの罪を赦し、すべての不義からわたしたちを清めてくださいます。

イザヤ 2:5 ヤコブの家よ、来たれ、わたしたちはエホバの光の中を歩もう。

イザヤ 50:10 あなたがたのうち、だれがエホバを畏れ、だれが彼のしもべの声を聞くのか？ だれが暗やみの中を歩いて、光を持たないのか？ エホバの御名に信頼し、自分の神に依り頼め。

イザヤ 50:11 見よ、あなたがたはみな火をともし、たいまつを身に帯びて、自分の火の光の中を、また自分がともしたいまつの中を歩く。あなたがたはこれをわたしの手から得て、苦しみの中に倒れ伏す。

1. **妄想**にとりつかれている人の症状は、彼が考え行なうことは完全に間違っているのに、自分が完全に正しいと考え、信じているということです—マタイ 6:22-23. イザヤ 5:20。

マタイ 6:22 目は体のともし火である。だから、あなたの目が単一であるなら、あなたの全身は光に満ちる。

マタイ 6:23 しかし、あなたの目が悪ければ、あなたの全身は暗い。もし、あなたの中にある光が暗ければ、その暗さはどれほどであろう！

イザヤ 5:20 災いだ、悪を善、善を悪と呼ぶ者たち。暗やみを光とし、光を暗やみとし、苦いを甘いとし、甘いを苦いとする者たち！

2. 罪を犯すことは汚れの事柄です。罪を犯したのに、罪を犯していないと信じ、それを正当化するのは、暗やみの事柄です—I ヨハネ 1:8, 10。

I ヨハ 1:8 もし、自分には罪がないと言うなら、わたしたちは自分を欺いているのであって、真理はわたしたちの中にありません。

I ヨハ 1:10 もし、わたしたちが罪を犯したことがないと言うなら、神を偽り者とするのであって、彼の言はわたしたちの中にありません。

3. 妄想、自己欺瞞の原因は、光よりも暗やみを愛すること(ヨハネ 3:19-20)、高ぶり(オバデヤ 3 節)、真理の愛を受け入れないこと(II テサロニケ 2:10-11. 箴 23:23)、唯一の神からの栄光を求めないことです(ヨハネ 5:44)。

ヨハネ 3:19 その罪定めとは、光が世に来ているのに、人は自分の行ないが悪いので、光よりも暗やみを愛したことである。

ヨハネ 3:20 悪を実行する者はすべて光を憎み、そして光に来ない。それは、彼の行ないが責められることを恐れるからである。

オバ 3 節 あなたの心の傲慢さがあなたを欺いた。あなたは岩の裂け目に住み、その住まいは高くそびえ、あなたは心の内で言う、「だれがわたしを地に引き下ろすだろうか？」。

II テサ 2:10 また、あらゆる不義の欺きを、滅びていく者たちの間で行ないます。なぜなら、彼らは救われるために、真理の愛を受け入れなかったからです。

II テサ 2:11 それゆえ、神は惑わす働きを彼らに送って、彼らが虚偽を信じるようにされたのです。箴 23:23 真理を買え。それを売ってはならない。知恵と教訓と英知を買え。

ヨハネ 5:44 あなたがたは互いに栄光を受け、そして唯一の神からの栄光を求めないなら、どうしてわたしを信じることができようか？

C. 命は光の輝きから来るのであり、光は神の言葉の中にあり、光は命の内なる感覚です—I コリント 4:6. 詩 119:105, 130. イザヤ 66:2. ヨハネ 8:12. ローマ 8:6, 14。

II コリ 4:6 なぜなら、「暗やみから光が照りいでよ」と言われた神は、わたしたちの心の中を照らして、イエス・キリストの御顔にある神の栄光の知識を、輝かせてくださったからです。

詩 119:105 あなたの言葉はわが足のともし火、わが径の光です。

詩 119:130 あなたの言葉が開かれると光を放ち、単純な者たちに理解力を与えます。

イザヤ 66:2 これらすべての物は、わたしの手が造ったものであるので、これらすべての物は存在しているのである」とエホバは告げられる。「しかし、わたしがみつめるのはこのような人である。すなわち、貧しく砕かれた霊の者、わたしの言葉におののく者である。

ヨハネ 8:12 こうして、イエスは再び彼らに語って言われた、「わたしは世の光である。わたしに従う者は、決して暗やみの中を歩くことがなく、命の光を持つ」。

ローマ 8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

ローマ 8:14 なぜなら、神の霊によって導かれている者はみな、神の子たちであるからです。

D. 「あなたの目は体のともし火である。あなたの目が単一であるなら、あなたの全身も光に満ちる。しかし、目が悪ければ、あなたの体も暗い。だから、あなたの内にある光が、暗やみにならないように用心しなさい。あなたの全身が光に満ちていて、暗い部分がないなら、ともし火の光があなたを照らす時のように、全体は光に満ちる」—ルカ 11:34-36。

V. 信者は人を捕る漁師です—マタイ 4:16-20:

マタイ 4:16 暗やみの中に座っている民は、大いなる光を見た。そして、死の領域と死の影の中に座っている民に、光が昇った」。

マタイ 4:17 この時からイエスは宣べ伝え始めて言われた、「悔い改めよ、天の王国は近づいたからだ」。

マタイ 4:18 さて、イエスはガリラヤの海のほとりを歩いている時、二人の兄弟、ペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレが、海に網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。

マタイ 4:19 イエスは彼らに言われた、「わたしについて来なさい。あなたがたを、人を捕る漁師にしてあげよう」。

マタイ 4:20 すると彼らは直ちに網を残して、彼に従って行った。

A. 人を捕る漁師になるとは、この世(海とその死の水とによって表徴される)から人を連れ出して、天の王国の中へともたらすことです—ルカ 5:10。

ルカ 5:10 また、ゼベダイの子で、シモンの仲間であったヤコブとヨハネも同様であった。イエスはシモンに言われた、「恐れることはない。今からあなたは、人を生け捕りにするようになるのだ」。

B. 人々をこの世から連れ出して、天の王国の中へともたらす道は、王国の福音、すなわち、神の全体的な救いの福音を、人の住む全地に宣べ伝えることによります—マタイ 24:14、ルカ 4:18-19、エペソ 3:8-9。

マタイ 24:14 そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る。

ルカ 4:18 『主の霊がわたしの上にある。彼が貧しい人たちに福音を宣べ伝えるように、わたしに油を塗られたからである。彼はわたしを遣わして、捕らわれ人たちには解放を、盲人たちには視力が回復されることを告げ知らせ、圧迫されている人たちを解放して去らせ、

ルカ 4:19 主の受け入れる年、ヨベルの年を告げ知らせるのである』。

エペソ 3:8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さいわたしに、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり、

エペソ 3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー〔経綸〕が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、

命の小麦、良い種、地の塩、世の光、人を捕る漁師		
命の小麦	I 信者は、 命の小麦 によって象徴され、 主の倉 に収められます—マタイ 3:11-12.	
	A	小麦は 神聖な命を内側に持つ ています。命は、人によって享受される神ご自身です
	B	十字架の 砕き 、キリストの 殺す死 を経験し、 障害を対処し取り除く
	1	クリスチャンであるとは、内側のキリストを顧慮し、キリスト以外を目標しないこと 第一の障害：命の道を認識しない（キリストを命としない）
	2	第二の障害：偽善（キリストを顧慮しない）
	3	第三の障害：反逆（キリストをないがしろにする、監禁、不従順）
良い種	4	第四の障害：天然の能力（天然の能力が砕かれていない）
	II. 信者は、 良い種 (王国の子たち)によって象徴され、 主によってまかれて彼の王国の中 で成長します—マタイ 13:24, 38:	
	A	良い種 としての神の言葉 神の言葉がわたしたちの中へとまかれて、わたしたちを 良い種 、復活の子たちと なさせます
	B	(神の言葉の機能) 命を分与、火として焼き、槌として砕く 種は、神の言葉、キリストであって、 神を命として わたしたちの中へ 分与 します。 言葉は火として、信頼しているものを焼き、槌として自己、天然の命、肉、情欲、観念を砕きます
	C	主に従い、地に落ちて死に、実を結ぶ 良い種として、わたしたちは 主に従って 地の中へと入って 死に、復活の中で 多くの実を結ばなければなりません。 死ぬことと、十字架を経験することは、わたしたちの魂の命、天然の命を否み、拒絶して、神聖な命によって生きることです
	D	種を撒くことは殉教です 良い種をまくことは殉教です。なぜなら、「あなたがまくものは、死ななければ生かされない」からです(I コリント 15:36)。わたしたちは 肉体的に、精神的に、霊的に殉教者となる ことがあり得ます(II テモテ 4:6, マタイ 16:25, I コリント 16:12, II コリント 2:12-14)。
	E	殉教はキリストの愛による キリストの愛情深い愛は、わたしたちに押し迫って、わたしたちが彼に生き、彼に死に、彼のために殉教者となるようにします
	F	環境のイエスの致死力と内住の霊との協力により成長する わたしたちの環境におけるイエスの致死力は、 内住する霊と協力して、わたしたちの天然の人を殺し、神聖な命を解き放ちます
	G	奉仕は神を起源とする 主に対するわたしたちの奉仕はすべて、神を起源としなければならず、わたしたち自身を起源としてはなりません。わたしたちが自分の中で彼の死に働いていただくとき、 彼の復活の命は、わたしたちを通して他の人の中へと分け与えられることができます
	1. ダビデは神の宮の建造をやめた 2. やめたことは、宇宙において二重の証しを打ち立てた(神を起源、神が人のために行なう) 3. 建造者と宮の敷地は罪の赦しから出来た—神がダビデに行なったことから出て来た 4. 「神のために働くのをやめることができない人はだれでも、神のために働くことはできません」 (バーバ姉妹)	
地の塩	III. 信者は 地の塩 であり、腐敗し腐った地の 細菌を殺し除去 する人です—マタイ 5:13.	
	A	ロトの妻は塩の柱になり、塩味をつける機能を失いました。 なぜなら彼女は未練がましくソドムを振り返って見たからです。それは彼女が、神が滅ぼそうとしていた邪悪なこの世を愛し、尊んでいたことを示します—創 19:15, 24-26. ルカ 17:32。
	B	わたしたちは主に従う生涯の中で、 わたしたちの持っているすべて、なし得るすべてをこのためにささげなければなりません。 そうでないと、わたしたちは失敗し、味のない塩となって、栄光の領域から恥辱の領域へ投げ捨てられるでしょう—14:31-35. 参照、啓 3:21. ヨハネ 16:33。
	C	わたしたちは失望すべきでも落胆すべきでもなく、むしろすべてに十分な恵みとしての手順を経て究極的に完成された 三一の神によって、増強され強められて、神聖なエコノミーを生かし出す べきです— I コリント 15:10, II コリント 12:9, II テモテ 4:22, コロサイ 4:6。
世の光	IV. 信者は 世の光 であり、自分たちの光を人々の前に輝かせ、この世の 暗やみを除き去る 人です—マタイ 5:14-16. エペソ 5:8:	
	A	光は神の臨在です。 わたしたちは神から生まれているので、 今や主の中で光であり、光の子供たちとして歩かなければなりません — I ヨハネ 1:5, エペソ 5:8-9。
	B	妄想、自己欺(ぎ)瞞(まん)から救われる道は、光の中を生き、神の照らしに開く ことであって、自分自身の光を生み出すことではありません

		1. <u>妄想にとりつかれている人の症状は、彼が考え行なうことは完全に間違っているのに、自分が完全に正しいと考え、信じているということです</u>—マタイ 6:22-23. イザヤ 5:20。 2. 罪を犯すことは汚れの事柄です。罪を犯したのに、罪を犯していないと信じ、それを正当化するのは、暗やみの事柄です— I ヨハネ 1:8, 10。 3. <u>妄想、自己欺瞞の原因は、光よりも暗やみを愛すること</u>(ヨハネ 3:19-20)、高ぶり(オバデヤ 3 節)、真理の愛を受け入れないこと(II テサロニケ 2:10-11. 箴 23:23)、唯一の神からの栄光を求めないことです(ヨハネ 5:44)。
	C	命は光の輝きから来るのであり、光は神の言葉の中にあり、光は命の内なる感覚です— II コリント 4:6. 詩 119:105, 130. イザヤ 66:2. ヨハネ 8:12. ローマ 8:6, 14。
	D.	「あなたの目は体のともし火である。あなたの目が単一であるなら、あなたの全身も光に満ちる。しかし、目が悪ければ、あなたの体も暗い。だから、あなたの内にある光が、暗やみにならないように用心なさい。 <u>あなたの全身が光に満ちていて、暗い部分がないなら、ともし火の光があなたを照らす時のように、全体は光に満ちる</u> 」—ルカ 11:34-36。
人を捕る漁師	V. <u>信者は人を捕る漁師です</u> —マタイ 4:16-20:	
	A	<u>人を捕る漁師になるとは、この世(海とその死の水とによって表徴される)から人を連れ出して、天の王国の中へともたす</u> ことです—ルカ 5:10。
	B	<u>人々をこの世から連れ出して、天の王国の中へともたす道は、王国の福音、すなわち、神の全体的な救いの福音を、人の住む全地に宣べ伝えることによります</u> — マタイ 24:14. ルカ 4:18-19. エペソ 3:8-9。

